

シェルター型ホームへのリニューアル工法

建築研究室

概要 本工法は、既存の高架ホームを壁と屋根で覆われたシェルター型ホームへリニューアルするものです。上家みの開放型ホーム空間をシェルター型ホームへリニューアルすることにより、ホームから軌道上への転落を防止できること、ホーム上に待合室の壁などが不要となり空間が拡大すること、ホーム上への風雨の吹き込みを防止できることなど多くの利点が期待できます。

特徴 本工法では、ホーム上構築物の軽量化のため、壁材に軽量の鋼製サンドイッチパネル、屋根には膜材を採用しました。また、ホーム上へ雨が吹き込むことがなくなるため、屋根の設置範囲をホーム直上のみとしています。これらの軽量化により、高架橋を補強することなくリニューアルすることが可能となります。また、膜屋根の形状を工夫することにより、金属製の谷樋を不要としたため、漏水の可能性を低くしました。さらに、既設のホーム上家の柱を活用することで、施工性の向上が図られます。一方、シェルター化することにより懸念される夏季温熱環境の悪化防止のため、ホーム上の気温を過度に高めないような換気用開口部の計画方法をまとめています。

問合せ先 建築研究室 TEL:042-573-7267 FAX:042-573-7247



開放型ホーム
(リニューアル前)



金属製の谷樋を要さない幕屋根

換気用開口部

鋼製サンドイッチパネル

シェルター型ホーム内部
(リニューアル後)

シェルター型ホーム外部
(リニューアル後)

換気用開口部

既設ホーム上家柱を活用

